

2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社チームスピリット

上場取引所 東

コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 道下 和良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役COO (氏名) 虎見 英俊

TEL 03-4577-7510

四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	3,279	16.5	△32	—	△36	—	△34	—
2023年8月期第3四半期	2,813	17.1	△75	—	△80	—	△91	—

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 △28百万円 (—%) 2023年8月期第3四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	△2.12	—
2023年8月期第3四半期	△5.58	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	3,727	1,378	37.0
2023年8月期	3,516	1,392	39.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 1,378百万円 2023年8月期 1,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	0.00	—		
2024年8月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	15.5	△120	—	△125	—	△220	—	△13.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期3Q	16,451,600 株	2023年8月期	16,408,100 株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	7,915 株	2023年8月期	4,615 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期3Q	16,420,396 株	2023年8月期3Q	16,335,229 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての人を、創造する人に。」のミッションのもと、勤怠管理、工数管理、経費精算、電子稟議など、従業員が毎日使う社内業務システムを一元化したクラウドサービス「チームスピリット(注1)」を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、フルリモートワークやハイブリッドワーク等の多様な働き方への対応が求められるようになったことで、高度な「勤怠管理」への需要は継続的に高い関心を集めております。また、最近では、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの最適化を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、人的資本経営に対する関心の高まりを背景に、多様で生産性の高い働き方の実現や、従業員エンゲージメントの向上に注力する企業が増加することが予想されます。また、特にエンタープライズ企業(注2)では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠管理システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレイス需要が高まっています。従来、エンタープライズ企業では、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるSaaS(注3)への関心が高まっています。

このような事業環境の下で、当社グループは中期戦略として①エンタープライズセグメントでの成長加速、②ミッド・スモールセグメントでの成長維持、③新規領域の創出、の3点を基本戦略として取り組んでおります。また、2024年8月期においては、「Growth & Efficiency」を重点戦略とし、ARR成長を最優先としながらも、収益性の改善に向けて経営効率を高めるための施策に注力しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりです。

ライセンスの受注状況に関して、当第3四半期連結会計期間における契約ライセンス数の純増は、エンタープライズ企業の新規受注や追加受注が成長を牽引し24,299ライセンス(第3四半期連結累計期間の純増数は63,460ライセンス)となり、累計の契約ライセンス数は520,176ライセンス(前年同期比22.6%増)となりました。ARR(注4)は3,726百万円(同15.8%増)となりました。また、当第3四半期連結累計期間における契約社数の増加は98社となり、累計で1,898社となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は合計で3,279百万円(前年同期比16.5%増)と概ね計画通りの進捗となりました。売上高の内訳は、ライセンス売上高2,648百万円(同15.6%増)、プロフェッショナルサービス売上高630百万円(同20.8%増)となりました。当第3四半期連結累計期間における営業損失は売上高の増加に伴う仕入高や業務委託費の増加、採用の進展及び人件費や社内インフラ費用の増加、展示会への積極的な出展による広告宣伝費の増加等により32百万円(前年同期は営業損失75百万円)となりましたが、第3四半期連結会計期間では黒字となっております。親会社株主に帰属する四半期純損失は、34百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失91百万円)となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一事業であるため、事業セグメント別の記載を省略しております。

(注1) チームスピリット:大企業向けの「TeamSpirit EX」及び、幅広い企業規模で利用可能な「TeamSpirit」の2つの製品で構成。

(注2) 企業規模毎の定義は以下のとおり。

名称	定義
エンタープライズ企業	従業員が1,000名以上の企業
ミッド企業	従業員が200~999名の企業
スモール企業	従業員が199名以下の企業

(注3) SaaS:Software as a Serviceの略称で、サービスとしてのソフトウェアを指す。クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス。

(注4) ARR:Annual Recurring Revenueの略で、集計基準日時点の「チームスピリット」(関連製品を含む)のライセンス収入から得られる月間収益の合計を12倍したものの。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,727百万円となり、前連結会計年度末から210百万円増加しました。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,192百万円となり、前連結会計年度末から317百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は535百万円となり、前連結会計年度末から106百万円減少しました。これは主に、旧本社の敷金が返還されたことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,348百万円となり、前連結会計年度末から224百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債はありません。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,378百万円となり、前連結会計年度末から13百万円減少しました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金と資本剰余金が増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少し、結果として減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日2024年7月12日に、2024年8月期の連結業績予想を修正しております。

2024年8月期をこれまで実施してきた投資を着実に成長加速に結び付けていくための1年と位置付け、継続的なARR成長と営業黒字を両立する投資余力を持つ会社への体質と構造の転換を進めてまいりました。その取り組みの結果として、投資領域の選択と集中により下半期での収益性改善が進み、営業損益では前回発表予想よりも30百万円改善し、120百万円の営業損失となる見込みとなりました。

また同時に、本日公表いたしました「連結子会社の事業縮小に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、2024年8月期第4四半期において当該連結子会社の事業縮小をスムーズに完了するため円滑な引き継ぎ等を行う目的で退職金等の諸費用130百万円を事業再編費用として特別損失に計上する見込みであることから、親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正しております。

詳細につきましては、2024年7月12日付の「2024年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,364,904	2,621,116
売掛金及び契約資産	42,656	42,647
前渡金	325,985	346,084
その他	142,526	183,103
貸倒引当金	△801	△415
流動資産合計	2,875,270	3,192,535
固定資産		
有形固定資産	12,639	13,534
投資その他の資産		
繰延税金資産	462,092	465,430
その他	166,735	56,082
投資その他の資産合計	628,827	521,513
固定資産合計	641,467	535,047
資産合計	3,516,737	3,727,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,890	7,671
未払法人税等	25,949	5,150
繰延収益	1,568,939	1,885,346
賞与引当金	57,066	2,420
その他	466,849	448,235
流動負債合計	2,124,695	2,348,823
負債合計	2,124,695	2,348,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,320	840,824
資本剰余金	823,320	830,824
利益剰余金	△281,113	△316,005
自己株式	△509	△509
株主資本合計	1,375,018	1,355,134
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,022	23,624
その他の包括利益累計額合計	17,022	23,624
純資産合計	1,392,041	1,378,759
負債純資産合計	3,516,737	3,727,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,813,559	3,279,173
売上原価	1,779,823	2,033,986
売上総利益	1,033,736	1,245,186
販売費及び一般管理費	1,109,569	1,278,085
営業損失(△)	△75,832	△32,899
営業外収益		
補助金収入	301	455
その他	196	545
営業外収益合計	497	1,001
営業外費用		
為替差損	4,149	3,745
株式交付費	790	628
その他	61	59
営業外費用合計	5,001	4,434
経常損失(△)	△80,336	△36,332
特別損失		
投資有価証券評価損	50,000	—
本社移転費用	19,252	—
特別損失合計	69,252	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,589	△36,332
法人税、住民税及び事業税	55,349	1,897
法人税等調整額	△113,790	△3,338
法人税等合計	△58,441	△1,440
四半期純損失(△)	△91,148	△34,891
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△91,148	△34,891

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純損失(△)	△91,148	△34,891
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,975	6,601
その他の包括利益合計	2,975	6,601
四半期包括利益	△88,173	△28,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,173	△28,290

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,503千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が840,824千円、資本剰余金が830,824千円となっております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の事業縮小)

当社は、2024年7月12日開催の取締役会において、当社の連結子会社である「TeamSpirit Singapore Pte. Ltd.」の事業縮小に伴う事業再編費用を2024年8月期第4四半期において特別損失として計上することを決議しました。

1. 連結子会社の事業縮小及びその理由

当社プロダクトの開発を担当していた当該子会社において人件費の上昇や大幅な円安進行による費用負担の増加が顕著であることから、当該子会社の事業を縮小し国内のエンジニアや外部のパートナーとの連携を進めていくことで開発体制の見直しを行い、費用負担の合理化を図ることを目的としたものです。

日程は、2024年12月末の事業縮小完了を目途とします。

2. 当該子会社の概要

① 名称	TeamSpirit Singapore Pte. Ltd.
② 所在地	シンガポール
③ 代表者の役職・氏名	Managing Director 虎見 英俊
④ 事業内容	チームスピエンタープライズの開発受託
⑤ 資本金	100,000シンガポールドル

3. 特別損失の計上

2024年8月期第4四半期において、事業縮小をスムーズに完了するため円滑な引き継ぎ等を行う目的で退職金等の諸費用130百万円を事業再編費用として特別損失に計上する見込みです。